

課 題	エリートツリーの植栽試験				開 発 期 間	平成30年度～32年度	
開 発 箇 所	茨城森林管理署 管内	担 当 部 署	森林技術・支援 センター	共同研究 機 関	森林総合研究所 林木育種センター	技術開発 目 標	(1)
現状と 問題点	森林総合研究所林木育種センターでは、現在エリートツリー（第二世代精英樹）を開発中であるが、育苗・育林に関して今までの集団とは相違すると思われるもののどのように扱うべきか確立されていない。今後エリートツリーの育苗・育林技術の普及に努めることを考えているが、今のままでは十分な情報を提供することができず普及に支障が生じる可能性がある。						
開 発 目 的	エリートツリーは、集団林等から選抜された成長が格段に優れた系統である。そこで、林木育種センターでは、早急なエリートツリーの普及を図るため、これらのクローン個体を利用してエリートツリーの人工交配によって得られたF2 個体を育苗しているところであり、今後試験地に植栽し成長量を調査するとともに、下刈り回数の軽減状況、最適な植栽密度及び間伐時期を解明し、林業従事者にエリートツリーの優秀性をアピールできる場としたい。						
開 発 方 法	① これまで開発したエリートツリー同士の交配種子、第一世代精英樹の交配種子及び在来品種のオープン種子をまき付け育苗後試験地に植栽する。 ② 試験地は3通りの植栽密度を設ける。 ③ 調査項目は、成長量については樹高・胸高直径とし、毎年調査する。 ④ 上記の調査データを統計的な手法を用いて分析し、エリートツリーの特性を解明する。						
年度別 計 画	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	1 成長量調査 2 下刈り（注） （注）：下刈りは必要に応じて適切に行う。		1 成長量調査 2 下刈り（注） （注）：下刈りは必要に応じて適切に行う。		1 成長量調査 2 完了報告書の作成		
（経費）	—		—		—		
（技術開発委員会における意見）							